

2学期始業式式辞

おはようございます。今日から2学期が始まります。皆さん、体調はどうですか？気持ちは充実していますか？熱中症や感染症の予防対策に引き続き気を付けながら、生活のリズムを戻していきましょう。

ところで、この夏休み中にはいろいろなことがありました。8月7日に起きた地震は、日頃の防災に対する意識を再確認する機会となりましたが、みなさんも家庭で十分な準備ができたでしょうか。学校でもあらためて防災対策の見直しを行いたいと考えます。何よりこの夏はパリオリンピックで盛り上がりました。いろいろな競技で熱戦を繰り広げるトップアスリートの姿から、彼らの普段の想像を絶する努力や、メダルを獲るという重圧はいかほどか、ということを考えずにはいられませんでした。しかし、試合に向かうどの選手もしっかりと前を見据え勝負に挑んでいましたね。特に男子バレーの準々決勝は手に汗を握る熱戦でした。第3セット24-21でマッチポイントを握ったときは勝利を確信しましたが、舞台はオリンピック、魔物がいました。3点の差はあっという間に埋まり、セットを奪われ、結果日本は2-3で負けてしまいました。その試合後の選手の様子や世間の反応から考えたことが二つあります。

一つは、どんなに準備をしても努力をしても、緊張感やプレッシャーのかかる勝負では確実に勝てるというものはないのだ、ということです。石川選手は「冷静じゃなかった。」そうですが、勝負に対してはこれで大丈夫

という線引きはないのだとしみじみ感じました。生徒の皆さん、特に3年生の皆さんは、就職、進学等、受験の大勝負が控えています。このくらいでいいだろうと自分で限界を決めず、本番で「冷静」でいられるよう、最後まで必死で駆け抜け、いかなる場合にも対処できる自信を付けてください。

もう一つは、勝負どころでミスをしたある選手に対して、SNS で誹謗中傷があったそうです。確かにここは、という場面でのミスでしたが、自分がその立場だったらどれほどプレッシャーがかかるか、そんな想像すら放棄し、感情のままに誹謗中傷に走る人たちがいることに対して、非常に悲しく、辛く感じました。私たちは人の立場や気持ちを想像し、慮ることができます。一時の感情を表出することが、自分の首を絞めることになることも理解していることでしょう。だからこそ、野村高校で学ぶ皆さんには、自分はもちろん他人も大切にして、思いやりのある言動ができる人になってほしいと心から思いました。

さあ、2学期が始まります。今度は皆さんが、自分の舞台で輝く番です。2学期は、体育祭をはじめとして、どの学年もいろいろな行事や学習活動が待っています。それぞれのステージで精一杯頑張る、きらきらした皆さんの姿を楽しみに、私たち教職員も頑張りたいと思います。

まだまだ暑い日が続きますが、しっかりと体調管理をしながら、手を抜くことなく、4か月後に「よく頑張った、自分」と心から言える2学期になることを期待し、式辞といたします。